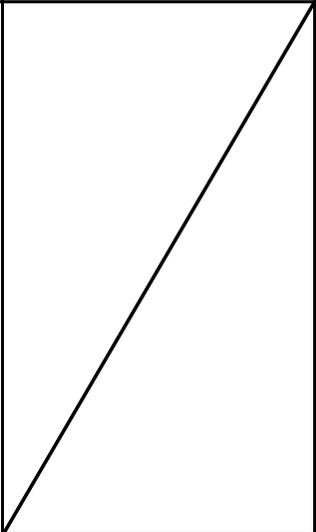
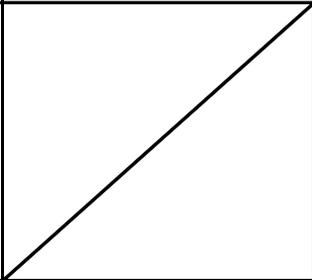


目標1 子どもの生きる力と豊かな心を育てます

1 子どもの権利を大切にする取組みの充実

事業名	事業説明・計画での目標値	実績・計画に対する達成率	達成できなかった理由	達成に向けての方策
子どもの施策への 参画促進 [福祉部]	事業説明 「参加する権利」を大切にするため、ワークショップやフォーラムの手法を用い、ワーク への参画の機会と意欲を高める。 施策等 計画での目標値 ・公園ワークショップ 5回 参加者：子ども・大人40名程度 ・小学生フォーラム 1回 各校1名 30名程度 ・中学生フォーラム 1回 各校1名 13名程度	事業の達成状況 計画どおり実施・公園作りワークショップ・ イベント 8回実施 参加者335人 ・小学生フォーラム 30校30名参加 ・中学生フォーラム 11校11名参加 両フォーラムとも全校が参加した。	計画通り実施	

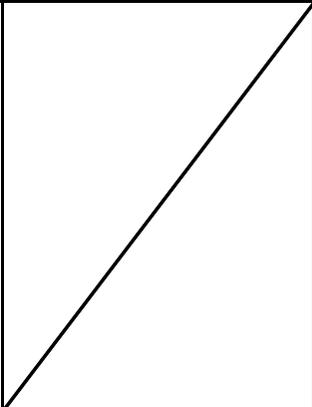
2 子どもの生きる力の育成と自立の促進

事業名	事業説明・計画での目標値	実績・計画に対する達成率	達成できなかった理由	達成に向けての方策
<p>確かな学力推進モデル校 【アクション04】 [教育委員会]</p>	<p>事業説明 基礎、基本の確実な定着、及び、個性を生かす教育の充実</p>	<p>事業の達成状況 目標達成に向け、少人数指導を行うための講師や外国人英語指導員を、モデル校（統合新校である中学校2校）に配置した。 98.97%</p>	<p>ほぼ目標達成</p>	
事業名	事業説明・計画での目標値	実績・計画に対する達成率	達成できなかった理由	達成に向けての方策
<p>理科実験名人の派遣 【アクション04】 [教育委員会]</p>	<p>事業説明 科学教育の充実を図り、児童生徒に学ぶ素晴らしさや楽しさを体験させるために、教職員に対する理科実験の実技研修を行うほか、実験上手な講師による実験授業を行い、学びの楽しさを実感させる。</p> <p>計画での目標値 仮校舎での授業を行う統合中学校2校への派遣を中心に行う。 @30,000*2回*35週=2,100,000</p>	<p>事業の達成状況 62.85%</p>	<p>文部科学省の事業内容と、当初の本事業の内容と重複したため。 【内容】平成17年度に本事業開始後、サイエンス・パートナーシップ・プログラム事業（略称「SPP」文部科学省所管事業）による、早稲田大学から統合中学校2校への実験講師派遣が決定した。所要経費は文科省より早稲田大学に直接支払われる。</p>	<p>18年度は本事業の実施規模を縮小し、小学校高学年に対象を広げて実施している。</p>

3 幼児期の教育・保育環境の充実

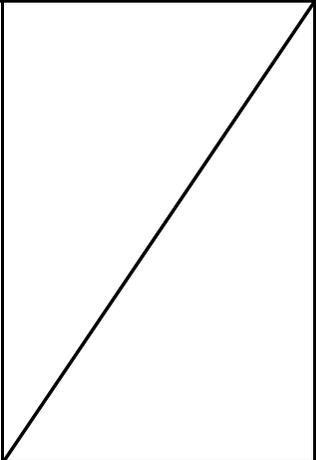
事業名	事業説明・計画での目標値	実績・計画に対する達成率	達成できなかった理由	達成に向けての方策
<p>幼稚園と保育園の連携・一元化（愛日幼稚園と中町保育園の幼保連携） 【計画：重点】</p> <p>[福祉部・教育委員会]</p>	<p>事業説明 生涯学習の始まりとして、人間形成の基礎を培う幼児教育の観点と未来に羽ばたく子ども達の育ちを支える次世代育成支援の観点から、幼稚園・保育園の共通性を活かしながらの連携を推進していく。</p> <p>計画での目標 9月から 愛日幼稚園・中町保育園での幼保連携の開始 共通カリキュラムによる活動・行事の実施 愛日幼稚園での預かり保育の実施 1月から 愛日幼稚園での給食の実施</p>	<p>事業の達成状況 9月から ・幼保連携を開始 幼稚園・保育園を基本とした日々の交流の実施 「大きな行事はできるものから合同で行っていく」との基本的考え方 の下での合同遠足等の実施 ・預かり保育開始 1日平均17人利用 (在園児の40%) 1月から ・給食開始 1日平均19人利用 (在園児の44%) その他 ・合同保護者懇談会2回 ・職員PTによる課題整理</p>	<p>共通カリキュラムによる活動など、一部、未実施な部分はあるものの、連携の取組みを通じて、子ども達の日常的な交流は深まり、保育園・幼稚園を超えた仲間意識が生まれている。そのため、計画は概ね達成はできているものと評価している。</p>	<p>両園の職員によるPTの編成や合同保護者懇談会の開催により、未実施の部分を含め、連携の取組みを、より広げ・深めていくとともに、合同保育・認定子ども園化も視野に入れた連携強化を行っている。</p>

次世代育成支援計画関連の17年度新規事業の実績報告

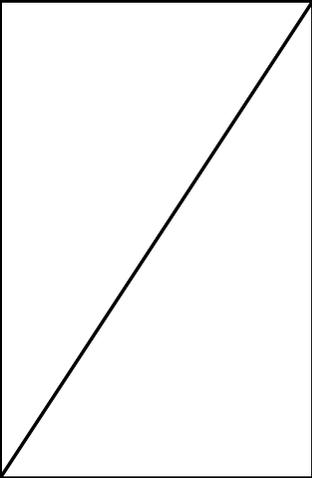
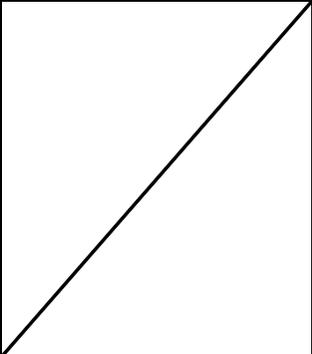
事業名	事業説明・計画での目標値	実績・計画に対する達成率	達成できなかった理由	達成に向けての方策
<p>幼稚園と保育園の連携・一元化（四谷幼保一元化施設の建設） 【計画：重点】 [福祉部・教育委員会]</p>	<p>事業説明 0歳から就学前までの子どもの成長と発達を見据え、幼児教育と保育が受けられる機会を保障し、豊かな心と社会性を身につけた次代を担う子どもを育てていく環境を整備するとともに、地域のすべての子育て家庭を支援し、地域と家庭の子育て力の向上を図ることを目的として、四谷幼保一元化施設を建設していく。</p> <p>計画での目標 建設工事 10月着工 保護者との定期的な懇談会による意見交換 職員PTによる保育教育計画の作成</p>	<p>事業の達成状況 建設工事 10月着工 四谷幼保一元化懇談会の実施（6回） カウントダウンイベント 職員PTによる保育教育計画の基本的な考え方のまとめ</p>	<p>建設工事は順調に進み、（仮称）四谷子ども園については、幼保一元化懇談会やカウントダウンイベントの取組みなどを通じて保護者や地域の理解は深まってきている。また、合同研修の実施により、職員相互の理解も深まってきている状況にあるため、計画段階での設定内容は、概ね達成できているものと評価している。</p>	<p>19年4月の開設に向け、幼稚園・保育園保護者の関わり、幼稚園教諭・保育士の相互理解を深め、円滑に施設を開設していきます。</p>
事業名	事業説明・計画での目標値	実績・計画に対する達成率	達成できなかった理由	達成に向けての方策
<p>幼児教育のあり方検討 [教育委員会]</p>	<p>事業説明 「21世紀の区立幼稚園ビジョン」、「次世代育成支援計画」を踏まえた、幼稚園における幼児教育をのあり方を総合的に検討し、新宿区の幼児教育のマスタープランを策定する。</p> <p>計画での目標 検討会の設置 平成18年度 中間報告・最終報告書作成、地域説明会</p>	<p>事業の達成状況 【平成17年度】 ・検討準備会（内部委員）の開催 4回 ・平成18年1月 学識経験者、民間幼児教育関係者、公募区民を含む新宿区幼児教育のあり方検討会を設置 ・検討会の開催 2回</p>	<p>目標達成</p>	

4 子どもたちの遊び場・居場所の充実

学校を核とした子どもの居場所づくり

事業名	事業説明・計画での目標値	実績・計画に対する達成率	達成できなかった理由	達成に向けての方策
学校施設の計画的整備(戸塚・大久保地区中学校適正配置) 【計画：重点】 「西早稲田中学校の建設」 [教育委員会]	事業説明 第5次・学校適正配置計画(戸塚・大久保地区中学校配置配置)に基づき、平成17年4月に戸塚第一中学校と戸山中学校が統合し「西早稲田中学校」(仮校舎：戸山中学校)が開校した。学校施設の計画的整備を行う。 計画での目標 新校舎の建設校地(旧戸塚第一中学校)の解体工事及び新校舎の設計委託等を行う。 18・19年度に新校を建設し、20年4月に新校舎開設予定。	計画どおり	目標達成	

次世代育成支援計画関連の17年度新規事業の実績報告

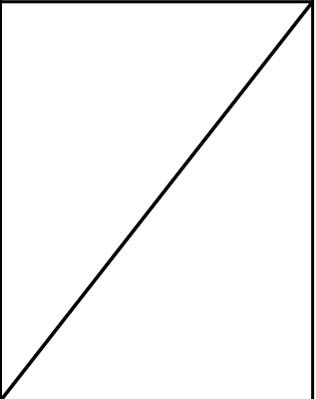
事業名	事業説明・計画での目標値	実績・計画に対する達成率	達成できなかった理由	達成に向けての方策
学校施設の計画的整備(戸塚・大久保地区中学校適正配置) 【計画：重点】 「新宿中学校の建設」 [教育委員会]	事業説明 第5次・学校適正配置計画(戸塚・大久保地区中学校配置配置)に基づき、平成17年4月に大久保中学校と東戸山中学校が統合し「新宿中学校」(仮校舎：東戸山中学校)が開校した。学校施設の計画的整備を行う。 計画での目標 新校舎の建設校地(大久保中学校)の解体工事及び新校舎の設計委託等を行う。 18・19年度に新校を建設し、20年4月に新校舎開設予定。	計画どおり	目標達成	
事業名	事業説明・計画での目標値	実績・計画に対する達成率	達成できなかった理由	達成に向けての方策
学校施設の計画的整備(四谷地区小学校適正配置) 【計画：重点】 「四谷小学校の建設」 [教育委員会]	事業説明 第六次・学校適正配置計画に基づき、平成14年4月に四谷第三小学校と統合し閉校した旧四谷第一小学校跡地で、新校建設を行う。 計画での目標 17・18年度で新校建設を行う。 19年4月に四谷第三小学校と四谷第四小学校を統合し、四谷小学校として開校する。	計画どおり	目標達成	

目標2 きめこまやかなサービスですべての子育て家庭をサポートします

1 子育て支援サービスの総合的な展開

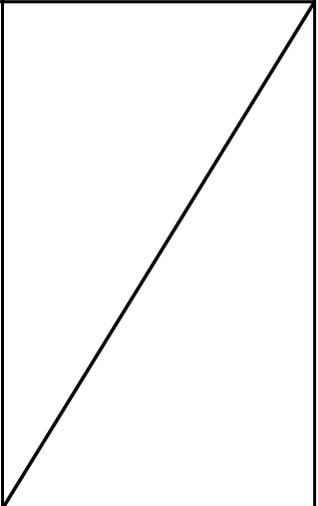
事業名	事業説明・計画での目標値	実績・計画に対する達成率	達成できなかった理由	達成に向けての方策
子ども家庭支援センター機能の強化 【計画：重点】 ・育児支援家庭訪問事業 [福祉部]	事業説明 子ども家庭支援センターの機能強化の一環として、家庭訪問、育児援助、家事援助等を組み合わせた産後及び養育の支援を実施する。 計画での目標値 産後支援 60人×30時間=1800時間 養育支援 40人×30時間=1200時間	事業の達成状況 (利用率) 産後支援 利用者数46/60=77% 利用時間930/1800=52% 養育支援 利用者数2/40=5% 利用時間37/1200=3%	母子手帳にチラシを同封し事業周知したが、事業開始初年度ということもあり、実際の利用が年度の後半からとなったため、目標値に届かなかった。	平成18年度から広報等を活用し、事業の目的や利用方法の周知を図る。
事業名	事業説明・計画での目標値	実績・計画に対する達成率	達成できなかった理由	達成に向けての方策
在宅子育て支援サービスの充実 【計画：重点】 ・区内ショートステイ協力家庭(小学生まで) [福祉部]	事業説明 乳児院に委託実施していたショートステイの対象年齢を新たに協力家庭に委託することにより対象年齢を小学6年生まで拡大する。 計画での目標値 ショートステイ協力家庭の開拓・研修を二葉乳児院に委託し、区は開拓された協力家庭と契約を結び小学生までのショートステイを実施する。 目標値 10世帯	事業の達成状況 6世帯が協力家庭として登録した。 達成率60%	広報等を通じて広く募集するほか、養育家庭経験者を中心に参加を呼びかけたが、応募者は少なかった。また、宿泊を伴う養育の責任感から、同居家族の同意が得られずに協力家庭登録に至らなかったケースもあった。	今後は、子育てセミナーを定期的に開催し、多くの区民に事業の意義や内容を理解してもらい、協力家庭を拡大していく。また、協力家庭への委託費等の増額を図る。

2 親と子の健康づくり

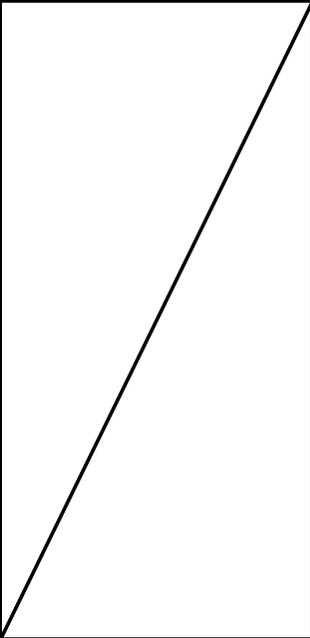
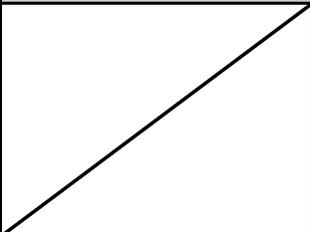
事業名	事業説明・計画での目標値	実績・計画に対する達成率	達成できなかった理由	達成に向けての方策
子どもすこやか相談 [健康部]	事業説明 保健センターの母子事業で、多動や自閉傾向、発達の遅れなどの相談が増えてきている。発達上の問題があるか、そのおそれのある乳幼児に対して、専門医による継続的な経過観察及び相談を行う。異常の早期発見及び適切な療育の相談をすることにより、発達を促すような支援を行う。 計画での目標値 年 6回	事業の達成状況 達成率 100% 実施回数 年6回 相談者実数 15人 延べ人数 16人 医療機関への紹介 6人 子ども発達センターへの紹介 5人	目標達成	

3 特に配慮が必要な子ども家庭への支援の充実

障害児等と家庭への支援

事業名	事業説明・計画での目標値	実績・計画に対する達成率	達成できなかった理由	達成に向けての方策
子ども発達センターの設置・運営 [福祉部]	事業説明 あゆみの家幼児部門を成人部門と分離し、子ども発達センターを開設。 子どもの発達の遅れや障害を早期に発見し、必要な支援を速やかに行うよう関係機関と連携しながらサービスの提供や調整を総合的に行う。 計画での目標値 目標値：新規相談件数 40%増 利用者数 5%増	事業の達成状況 新規相談件数16年度比47.8%増 利用者数16年度比 9.5%増	目標達成	

次世代育成支援計画関連の17年度新規事業の実績報告

事業名	事業説明・計画での目標値	実績・計画に対する達成率	達成できなかった理由	達成に向けての方策
<p>知的障害者・障害児ショートステイの充実 【計画：重点】</p> <p>[福祉部]</p>	<p>事業説明 在宅の知的障害者や障害児とその保護者等が、住み慣れた地域で安心して生活を続けることができるよう、保護者等の介助者の急病時における障害者緊急一時保護利用と、保護者等の介助者の休養のための利用(レスパイト)のショートステイ事業を行う。</p> <p>計画での目標値 新宿生活実習所の多目的ルームを利用して、区がショートステイ事業者の指定を受け、3床の知的障害者・障害児ショートステイ事業を実施する。 【目標値】3床開設</p>	<p>事業の達成状況 平成17年5月、区が事業者の指定を受け、3床の知的障害者・障害児ショートステイ事業を開始した。体験入所期間を経て、7月から本格実施した。また、3床のうち1床は緊急対応用としている。</p> <p>【実績】 利用率 (H17年7月～H18年3月) 体験入所を含む 知的障害者・児童合計：57% 登録者数 (H18年3月31日現在) 知的障害者：58名 児童：14名 延べ利用日数 (H17年7月～H18年3月) 知的障害者：284日 (うち日中利用3日) 児童：172日 (うち日中利用22日) 【達成率】 100% (3床開設達成)</p>	<p>目標達成</p>	
事業名	事業説明・計画での目標値	実績・計画に対する達成率	達成できなかった理由	達成に向けての方策
<p>心身障害教育の充実 【計画】</p> <p>[教育委員会]</p>	<p>事業説明 情緒障害・通級指導学級の新設 計画での目標値 平成18年4月1日開級 1校</p>	<p>事業の達成状況 計画通り 平成18年4月1日 落合第二中学校へ情緒障害・通級指導学級を開設</p>	<p>目標達成</p>	

次世代育成支援計画関連の17年度新規事業の実績報告

ひとり親家庭への支援

事業名	事業説明・計画での目標値	実績・計画に対する達成率	達成できなかった理由	達成に向けての方策
自立支援教育訓練 給付事業（ひとり 親家庭福祉） [福祉部]	事業説明 母子家庭の母の主体的な能力開発を支援する ため、指定講座を受講し修了した場合に経費 の一部を支給する。 計画での目標値 10件利用	事業の達成状況 利用数4件 達成率40%	申込件数は12件あった が、受講期間等が講座に より異なり、年度中に修 了は4件に留まったた め。	新規申込件数を増やす ため、児童扶養手当受 給決定通知に事業チラ シを同封していく。

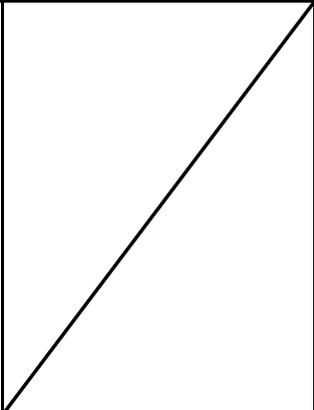
外国人家庭への支援

事業名	事業説明・計画での目標値	実績・計画に対する達成率	達成できなかった理由	達成に向けての方策
親力パワーアップ講座 【アクション04】 [教育委員会]	事業説明 外国人保護者を対象とした家庭教育のあり方を学習する親力パワーアップ講座を、(財)新宿区生涯学習財団に委託し、実施する。 計画での目標値 定例プログラム月1回×12月 特別プログラム 受験生のために 育児相談 入園・入学プログラム 計5回	事業の達成状況 定例プログラム 計6回 特別プログラム 計5回 受験生のために 育児相談 入園・入学プログラム	定例プログラムについては、財団が団体支援したわくわく実行委員会が主催するワールドわくわくしゃべり場と、目的が類似するため、効率を考慮し、同実行委員会との連携を強化し、定例プログラムの実施を減らしたため。	今年度は計画通り実施の予定。
事業名	事業説明・計画での目標値	実績・計画に対する達成率	達成できなかった理由	達成に向けての方策
外国語版文化・生活情報等ホームページの作成 【アクション04】 [地域文化部] (16年度：区民部)	事業説明 外国語によるホームページを作成し、日本語が充分理解できない外国人住民に新宿の文化・生活に関する情報を提供する。 計画での目標 ホームページ作成 (対象言語) 英語、中国語、ハングル、日本語	事業の達成状況 英語、中国語、ハングル、日本語の4言語でホームページを作成した。 内容は生活情報や区内行事等であり、随時更新することで、最新の情報提供を行っている。達成率は100%である。	目標達成	

目標3 子育てと仕事の両立がしやすい環境づくりを進めます

1 多様な保育サービスの展開

保育園・認可外保育施設の充実

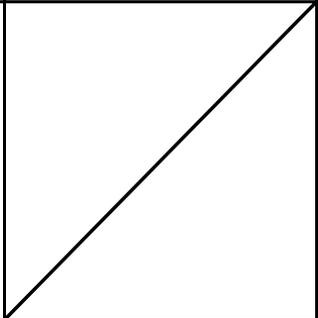
事業名	事業説明・計画での目標値	実績・計画に対する達成率	達成できなかった理由	達成に向けての方策
待機児童の解消 【計画：重点】 ・私立認可保育所の整備 [福祉部]	事業説明 老朽化した区立下落合保育園の建替えを機に、私立認可保育園とし定員の拡大と新たな保育サービスを提供する。 計画での目標 現在休園中の戸塚第三幼稚園舎を仮園舎として整備し、移転する。 19年4月に私立認可保育園として開設し、定員の拡大と新たな保育サービスを提供する。	事業の達成状況 計画どおり、平成17年4月から仮園舎を開設するとともに、新たに0歳児保育、延長保育(1時間)を実施した。 私立認可保育所((仮)新宿せいが保育園)への建設助成についても、予定した工事の進捗率(50%)に応じた補助金を交付した。	目標達成	

2 働きかたの見直しへの啓発

事業名	事業説明・計画での目標値	実績・計画に対する達成率	達成できなかった理由	達成に向けての方策
<p>職場における男女 共同参画の推進 【計画】 [総務部]</p>	<p>事業説明 区内事業所において「男女共同参画」及び 「仕事と家庭の両立支援」を促進すること により、男女共同参画社会の実現をめざす。 区に登録している区内事業者170社に対 し、啓発の一環として「雇用における男女の 参画状況アンケート」を実施する。 計画での目標値 女性が働きやすい環境・職場風土づくりを推 進している事業者 平成19年度 80% 育児・介護休業制度を導入している事業者 平成19年度 80%</p>	<p>事業の達成状況 ・女性が働きやすい環境・職場風土づくりを 推進している事業者 平成17年度実績 72.20% 達成率 90.25% ・育児・介護休業制度を導入している事業者 平成17年度実績 61.50% 達成率 76.88%</p>	<p>規模の大きい事業者は制 度が整ってきてはいる が、従業員の少ない事業 者や家族経営的な事業者 は、必要は感じていても 従業員の手当などすぐに 制度を導入することがむ ずかしいため。</p>	<p>引き続きアンケート等 による啓発を行うとと もに情報提供をする。</p>

目標4 家庭・地域の子育て力・教育力をアップします

2 地域との協働で進める次世代育成支援

事業名	事業説明・計画での目標値	実績・計画に対する達成率	達成できなかった理由	達成に向けての方策
学校跡地を活用したひろばづくり 【計画：重点】 [地域文化部] (16年度：区民部)	事業説明 四谷地区の小学校統廃合後の四谷第四小学校跡地を地域のひろばとして活用する。ひろばづくりにあたっては、区民が自主的・主体的に企画立案段階から参画し、運営する、参加と協働によるひろばづくりのモデルとする。 計画での目標 協議会設置	事業の達成状況 平成17年10月に地域の検討会として、四谷地区協議会「四谷ひろば」プロジェクトを設置し、検討会を6回開催した。	計画通り	

目標5 安心して子育てできる都市環境をつくります

1 地域・事業者とともにすすめる子育てバリアフリー

子育てしやすい住環境づくり

事業名	事業説明・計画での目標値	実績・計画に対する達成率	達成できなかった理由	達成に向けての方策
子育てファミリー 世帯居住支援 【計画】 [都市計画部]	<p>ア・ 事業説明 イ・ 計画での目標値 賃貸住宅の登録・あっ旋 ア・ 子育て世帯に適した住環境の民間賃貸 住宅の物件情報を、提供する。 イ・ 40戸 アパート建替促進事業 ア・ 子育て世帯にとって住みやすい賃貸マ ンションなどに建替える際に必要な資金につ いて融資あっ旋及び利子補給を行う。 イ・ 2件 転入・転居助成 ア・ 子育て世帯について、転入に際し転居 一時金及び移転費用助成を、転居に際し、家 賃差額を助成する。 イ・ 転入30世帯、転居20世帯 リフォーム促進事業 ア・ 子育て世帯が持ち家をリフォームする 際に必要な資金について融資あっ旋及び利子 補給を行う。 イ・ 4件</p>	<p>事業の達成状況 20戸・50% 0件・0% 転入20世帯・67%、 転居12世帯・60% 0件・0%</p>	<p>資格要件が対象を狭め、 申請方法がわかりにく かったと考えられるた め。また、事業の周知が 足りなかったため。</p>	<p>資格要件の緩和と申請 方法の見直しを行うと ともに、ホームページ を充実するなど、制度 の周知に向けた取組み を行う。</p>

次世代育成支援計画関連の17年度新規事業の実績報告

事業名	事業説明・計画での目標値	実績・計画に対する達成率	達成できなかった理由	達成に向けての方策
子育て支援マンションの整備誘導 【計画】 [都市計画部]	事業説明 子育てに配慮した民間のマンションを区が認定・支援することにより、子育てしやすい居住環境の整備を図るもの。 計画での目標値 目標値：4件	実績なし	認定による事業者のメリットが少ないと考えられるため。また、事業の周知が足りなかったため。	他自治体で実施している類似の事業を調査するとともに、周知方法などを見直す。
事業名	事業説明・計画での目標値	実績・計画に対する達成率	達成できなかった理由	達成に向けての方策
住み替え居住継続支援 【計画】 [都市計画部]	事業説明 区内民間賃貸住宅に居住し、その住宅の取り壊し等により賃貸借契約の継続が困難となり立ち退きを求められている世帯に対して、転居後住宅の家賃の一部について支援する。 計画での目標値 高齢単身世帯：8 高齢二人以上世帯：5 障害者単身世帯：2 障害者二人以上世帯：2 ひとり親世帯：2	事業の達成状況 2世帯・10.53%	資格要件が、対象を狭めていたと考えられるため。また、事業の周知が足りなかったため。	資格要件を緩和するほか、事業の周知に努め、利用促進を図る。

目標2 きめこまやかなサービスですべての子育て家庭をサポートします

追加資料

1 子育て支援サービスの総合的な展開

事業名	事業説明・計画での目標値	実績・計画に対する達成率	達成できなかった理由	達成に向けての方策
在宅子育て支援サービスの充実 【計画：重点】 ・一時保育の充実ひろば型 [福祉部]	事業説明 一時保育を乳幼児親子が日常的に利用する場 所で実施することにより、保護者が安心して 子どもを預けられるようにするとともに、保 護者の子育て負担感の軽減を図る。 計画での目標値 補助実施箇所数 17年度1ヶ所 19年度までに1ヶ所	事業の達成状況 地域子育て支援センターふたば 実施日数 196日 延べ利用数 1,121名 延べ利用時間 2,793時間 一日あたり利用平均人数 5.7名 1名あたり平均利用時間 2.5時間	目標達成	